



介護施設

大潟村をあげて、アシストスーツ活用に取り組み中！ マッスルスーツ®は今や スタッフの腰の守護神

社会福祉法人 正和会
ケアコンプレックス大潟
Care-Complex "Ogata"



指定介護老人福祉施設

大潟村特別養護老人ホーム

ひだまり苑 (秋田県大潟村)



木元 忍 氏
主任
介護福祉士



檜森 雄樹 氏
介護福祉士

※施設長の鈴木氏にもインタビュー

ゆったり時間の流れる穏やかな村の複合福祉施設

ケアコンプレックス大潟は、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護施設、デイサービス、ケアハウス、居宅介護支援センターからなる大潟村の複合老人福祉施設です。村の中心にあり、ゆったりと流れる時間の中で四季折々の自然に触れながら、快適な生活を提供しています。その施設の1つである“ひだまり苑”は、常時介護が必要な方(要介護3~5)が利用できる特別養護老人ホームです。ひだまり苑ではプライバシーを大切にしており、ご利用者の居住空間は4人部屋ですが、美しい和障子で仕切られ個室を思わせるような構造になっており、心穏やかに安心して生活できる空間になっています。現在、約60名が生活をしており、21名の介護福祉士がその生活をサポートしています。

介護の先進事例を構築すべく、村をあげて介護ロボを導入

大潟村では、農業分野でもマッスルスーツ®の検証を行うなど村全体でアシストスーツの活用積極的に取り組んでいます。その背景には、農村部の人材不足や労働環境の改善といった課題があります。「農村における人材の維持・確保は常に経営管理上の課題であり、今のスタッフに少しでも無理のない環境で働いてほしいと思っています。また、施設外でも“腰補助用 マッスルスーツ®”の利用を広める先駆けとなり、村に貢献したいという気持ちで導入に踏み切りました(施設長 鈴木氏)。「以前に別のアシストスーツを使ったことがありました。そのイメージを持っていたので最初はあまり期待していなかったのですが、マッスルスーツ®を試着してみて、その“軽さ”や“装着の容易性”に驚きました。今では中腰維持で一番負荷がかかる“オムツ交



「介護職に就いて1年で腰痛になりました。この春マッスルスーツ®に出会ってからは腰痛にはなっていませんね。もう僕の仕事の相方で、中腰維持の“オムツ交換”での使用は欠かせなくなっています。」

社会福祉法人 正和会 特別養護老人ホーム ひだまり苑
介護福祉士 金野 成哉 氏

換”でマッスルスーツ®の使用は欠かせません。腰の負担軽減をかなり感じています(主任 木元氏)。

ひだまり苑では、日中と夜間のご利用者の“オムツ交換”の際に、必ずマッスルスーツ®を使用するようにしています。約14名ほど1.5時間程度かかります。

仕事の相方、そして腰の守護神

ひだまり苑の介護現場のスタッフは、中腰姿勢維持の“オムツ交換”があらゆる業務の中で一番辛い介助だと感じています。

「介護の仕事に就いて1年で腰が痛くなってしまった。でも、今は僕の相方マッスルスーツ®と仕事することで腰が守られていてもう腰痛にはなっていませんね。週に2-3度は必ず装着して業務にあたるようにしていますよ(介護士 金野氏)」。

ひだまり苑では、日常業務にマッスルスーツ®を取り入れてから慣れるまで、約1か月を要しています。特に空気圧調整や急なコール対応時に困っていました。「慣れだと思えます。腰の負担軽減は確実に感じているので、慣れるまで意識して利用することが大切。1か月程度継続使用することで自分に合った空気圧もわかってくるし、スムーズに装脱着できるようになります。そうなればもう相方です(同氏)」。



マッスルスーツ®は、“オムツ交換”を行う場所に置いている。スムーズに装着し業務をスタートするための工夫の一つ。

他の介助業務への展開と工夫を検討

マッスルスーツ®使用スタッフは、“オムツ交換”業務を始める場所に機体を置き、スムーズに開始できるよう工夫しています。また、他に工夫できることはないかも常に意識しています。

「介助業務にあたる中で、小さなウエストポーチを腰から下げられるようにしてポンプ式の消毒液を入れておくようにすれば便利だなと気付きました。そういった気付きから工夫を重ねて使いやすくなりたい(介護福祉士 檜森氏)」。「他の場面、特に“入浴介助”でのマッスルスーツ®活用の成功事例を知りたい。もう1台増やすことも視野に入れてさらに活用領域を広げていきたいと思っています(主任 木元氏)」。

中腰維持の“オムツ交換”が一番腰に負担がかかるとスタッフ一同、声をそろえて言う。マッスルスーツ®は腰の守護神であり、仕事の相方として、こうした業務の精神的な支えにもなっている。

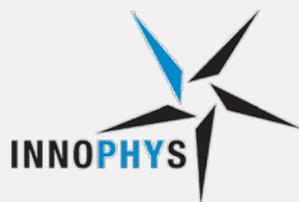


10名以上のご利用者の“オムツ交換”をしたあと、マッスルスーツ®を脱ぐとホッとします。この繰り返しで腰痛を軽減していく。



金野 成哉 氏
ひだまり苑 介護福祉士

基 本 情 報	
使用モデル	マッスルスーツ ：タイトフィット
導入時期	2017年 5月
台数	1台 (S-Mサイズ)
主な使用シーン	オムツ交換
時間帯	日中、夜間 (約1.5時間)
使用人数	約3名
職種	介護福祉士



《お問い合わせ》
株式会社イノフィス
TEL: 03-5225-1083
Email:
Support@innophys.jp
Facebook:
<https://www.facebook.com/innophys.jp/>

生きている限り、自立した生活を実現する

東京理科大学発ベンチャー
～夢のようなロボットではなく、人のためのロボットを～
詳しくは <https://innophys.jp/> をご覧ください。

©2017 INNOPHYS CO., LTD. All rights reserved
記載事項は予告なく変更される場合があります。内容の一部または全部をINNOPHYS CO., LTD.の許可なく使用・複製することはできません。マッスルスーツ®, INNOPHYSはINNOPHYS CO., LTD.の登録商標です。その他の記載のブランド、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

